

【菊池市】 校務 DX 計画

1. 現状と課題

(1) 現状

学校では校務の情報化及びペーパーレス化を意識しながら「グループウェア」や「共有フォルダ」などを活用し職員会議や教育委員会とのやりとりを行っています。

また職員のサービス管理には「サービス管理ツール」を導入しています。「サービス管理ツール」には連絡事項や休暇・出張中の教員一覧を確認できる機能があり、情報共有や連絡において活用ができていているところです。

教育委員会では、ICT 活用に関する実践事例集を作成し ICT 推進員会で学校間での共有を行い、各学校での利活用に繋げていています。

(2) 課題

FAX の利用や押印廃止等を積極的に進めているものの一部残存しているものがあります。そのため、事務が負担になっている事例があります。

また、現在市のセキュリティポリシーを準用しているため、校務支援システム等クラウド対応になっていない状況です。

(3) 校務 DX に向けた取組

上記 1－(2)の課題を踏まえ、校務 DX に向けた取り組みを以下のとおり進めます。

① 引き続き FAX の利用や押印廃止等を改めて周知、推進していきます。

これにより、ペーパーレス化が推進され、文章量の削減及び事務軽減にも効果があると考えます。

②クラウド化に向け市のセキュリティポリシー改定について担当課へ提案するとともに、既存の業務支援システムの活用方法を研究・実践し、校務の効率化をさらに推進していきます。

また、文部科学省が KPI として掲げている「次世代型校務システムの導入」について検討します。

③ 市教委から各学校へデータで名簿情報を提供することにより、校務支援システムへの名簿情報の不要な手入力作業の一掃を目指します。